

北海道社会福祉士会 スーパーバイザー プロフィール

ふりがな 氏名	こしいし まこと 越石 全
所属支部	道央地区支部
<input type="checkbox"/> 第1号 認定上級社会福祉士	
<input type="checkbox"/> 第2号 認定社会福祉士の更新者	
<input type="checkbox"/> 第3号 認定上級社会福祉士に準じる者	
<input checked="" type="checkbox"/> 第4号(1) 社会福祉士	
<input type="checkbox"/> 第4号(2) 施設機関等において職員のスーパービジョンを担当している者	
<input type="checkbox"/> 第4号(3) 教員等でスーパーバイザーとして豊富な経験と実績のある者	

【職務等経験】 ※時系列に明確・簡潔に記入ください

1987年2月～1995年9月	社会福祉法人大友恵愛会 特別養護老人ホーム大友恵愛園 生活相談員入職
1995年10月～2002年8月	社会福祉法人北海長生会 北広島在宅介護支援センター四恩園 ソーシャルワーカー入職
2002年9月～2015年3月	学校法人西野学園 札幌医学技術福祉歯科専門学校 介護福祉士科・社会福祉科専任教員入職
2015年4月～2022年3月	同校 社会福祉士通信課程 専任教員
2022年4月～現在に至る	日本医療大学 総合福祉学部 ソーシャルワーク学科入職

【職能団体等における活動経験】 ※時系列に明確・簡潔に記入ください

2000年～至現在	北海道社会福祉士会 フォローアップ研修・実習指導者講習会の企画・運営・講師として関与
-----------	--

【最終学歴】

北星学園大学大学院社会福祉学専攻修士課程修了(学位：社会福祉学修士) 2006年3月
--

【資格・特技等】

資格：社会福祉士・介護支援専門員
特技：音楽（オーケストラ・吹奏楽：トランペット奏者）

【ソーシャルワーク実践において大切にしていること】

一定の理論的フレームワークを基盤としつつも、状況に応じた柔軟性。 ケースワークから始まる 利用者と専門職の協働合意形成。 価値の多様性を認識した実践。
--

【スーパービジョンの経験】 ※直近の経験から記載してください。

2008年4月～至現在	学校法人西野学園札幌医学技術福祉歯科専門学校にて管理職として所属教員に対してSV実施
1995年10月～2002年8月	北広島在宅介護支援センター四恩園にて管理職として相談援助職・ホームヘルパー（管理職）に対してSVを実施。
2018年6月～	認定社会福祉士のスーパーバイザーとしてSVを実施

【スーパーバイザーへの一言】

実践の言語化は一定程度必要ですが、実践はすべて言語化できず（暗黙知）相互の感覚共有も重要と感じています。一定の準備をしつつもSVのプロセスを大切にしたいと考えています。

【条件】

① 活動地域について

同支部内 ・ 同支部以外 ・ その他（ 同支部・同支部以外両方可能。 ）

② 受け入れ可能人数について

4 名 可能

③ その他（セッション可能曜日、時間帯、バイザーへの連絡方法などの条件について、出来るだけ詳しく記載ください）

セッション可能曜日：基本的に限定はありません。授業の状況によりますので、相談しながら展開していきたいと考えています。

時間帯：平日であれば、18時以降可能ですが、相談により時間変更も可能です。

土日曜・祝日は基本的にフリーですが、研究・学会等がある場合もある。

詳細は相談しながら進めたいと思います。

バイザーへの連絡方法・条件：基本的にはメール連絡をお願いします。その際、添付資料貼り付け可能なメールアドレスを用意してください。

緊急時は携帯電話に連絡いただいてもかまいません。